

建設技術者

START BOOK 2026



東日本建設業保証株式会社

はじめに

建設業は、社会資本の整備や維持・管理の主体であるとともに、近年頻発する災害現場の最前線で「地域の守り手」として、国民生活や社会経済を支える極めて重要な役割を担っています。

しかしながら、依然として就業者数は減少傾向にあり、人手不足は慢性的な問題であることから、持続的にその重要な役割を果たしていくためには、現場の技術者等の確保・育成が喫緊の課題となっています。

これらの課題に対応すべく、建設業界では、若者や女性の入職・定着、働き方改革の促進、魅力ある職場づくりなど、担い手確保に向けた様々な対策に取り組んでいるところです。

本冊子は、若手技術者の皆さんの成長を応援することを目的とし、令和5年3月に初版を刊行しました。

内容は、建設技術者が身に付けておくべき基礎的な知識や仕事内容のほか、成長段階ごとに必要とされる能力や資格などについても、図表やイラストを用いて分かりやすく解説しており、ご好評を頂いてまいりましたが、この度、法令改正への対応や最新データへの更新など所要の改訂を行いました。

また、建設業の今後をイメージしてもらえるよう、生産性向上に向けた取組として、i-Constructon 2.0やインフラ分野のDXアクションプラン（第2版）に関する解説を追加するとともに、働き方改革のテーマについては最新の情報に更新しました。

本冊子が、若手技術者の皆さんにとって、仕事への理解やスキルアップの一助となれば幸いです。

令和8年2月

東日本建設業保証株式会社

※本書の内容は、令和7年8月1日現在の法令に基づいております。

建設技術者 **START BOOK 2026**

目 次

第1章 建設業の特徴と魅力

1-1	地域社会を支える建設業	2
1-2	建設業の基礎知識	4
1-3	みんなでつくる建設業	8
1-4	建設技術者の醍醐味	10

第2章 建設技術者の仕事

2-1	施工管理	14
2-2	建設技術者の種類	24
2-3	土木技術者の仕事（着手から完成）	30
2-4	建築技術者の仕事（着手から完成）	38

第3章 建設技術者のスキルアップ

3-1	建設技術者のスキルマップ	48
3-2	階層別の目標スキル	50
3-3	施工管理技士へのチャレンジ	60

第4章 これからの建設業

4-1	変わる建設業	64
4-2	生産性向上に向けた取組	66
4-3	建設業の働き方改革	72

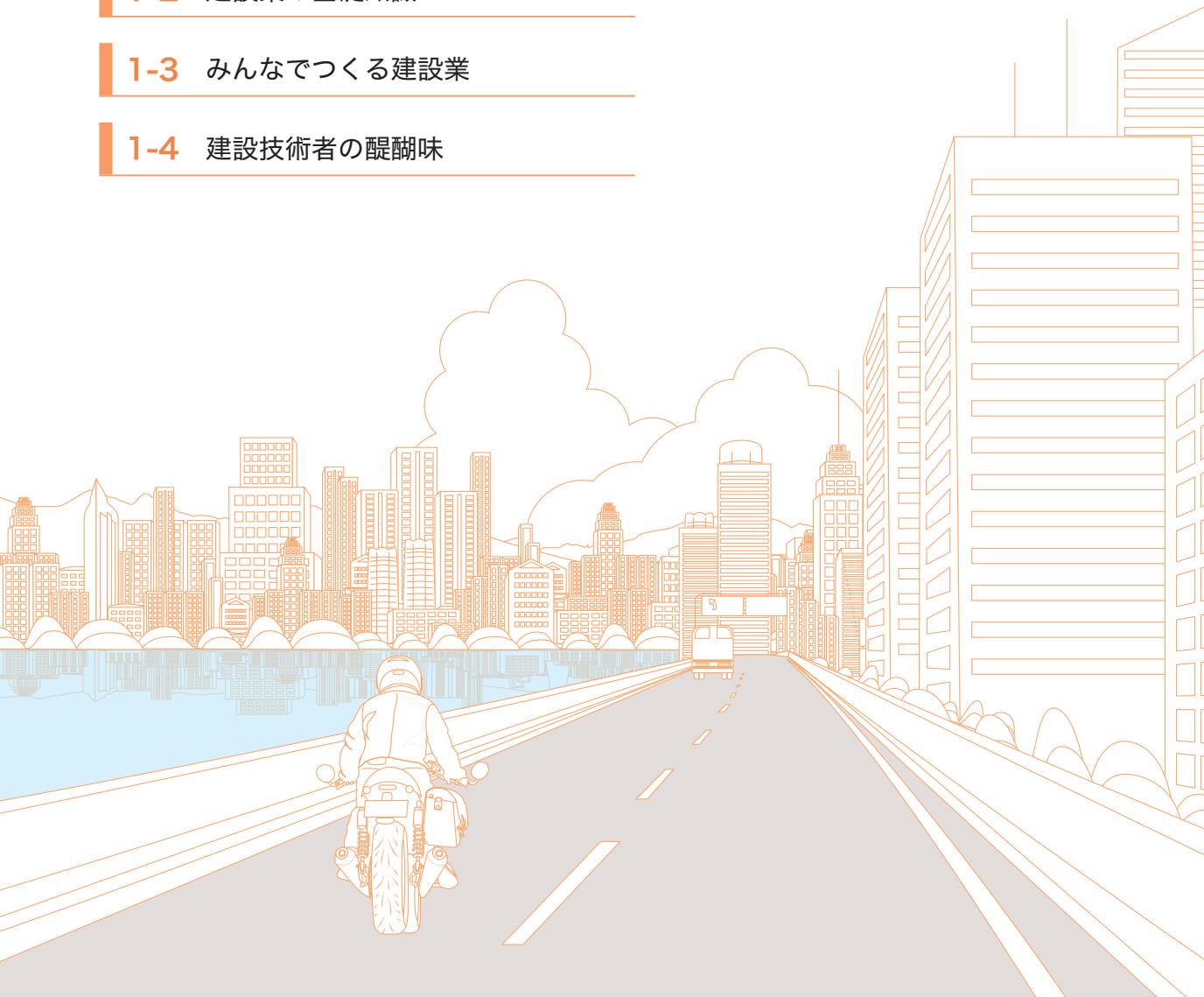
建設業の特徴と魅力

1-1 地域社会を支える建設業

1-2 建設業の基礎知識

1-3 みんなでつくる建設業

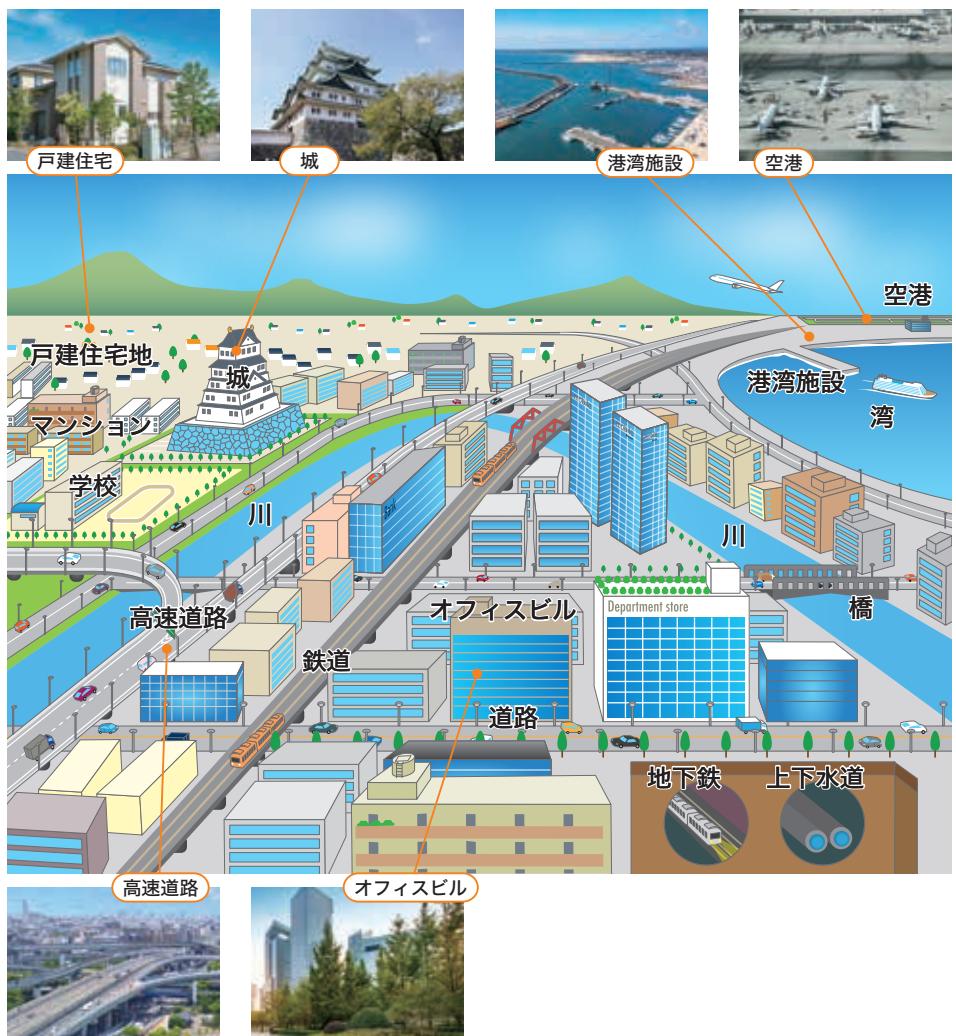
1-4 建設技術者の醍醐味



1-1 地域社会を支える建設業



1. 建設業の役割



私たちの周りを見回すと、様々な建設物があります。皆さんが暮らしている家があり、家を出れば道路や橋、商業施設の集まる街には皆さんの働いている会社などもあります。また地域によっては、観光地として多くの人々が集まる神社仏閣などがあるかもしれません。一方、家の中に目を転じれば、水道や電気、ガスなど快適に暮らすことのできる設備が整っています。

建設業は私たちの暮らしになくてはならない、このような建設物や設備を造る仕事です。ここでは具体的に建設業の役割を見てみましょう。

○豊かな暮らしをつくる

建設業は、道路や橋、水道、電気・ガス・通信設備、学校、病院など（インフラ）のほか、住宅やビルなど、暮らしに欠かせない様々なものを造っています。皆さんにとってはインターネットや携帯電話網などの情報通信基盤が特に欠かせないものかもしれません。これらのインフラなどを構築し維持することが建設業の重要な役割です。

また、交通渋滞の解消のため道路をバイパス化したり、高速鉄道を整備したりするなど、より快適で便利な環境に向けた整備も行っています。

○安心安全な生活を守る

安心で安全な生活環境を作り、災害から人々を守ることも建設業の重要な役割です。さんは日本のみならず世界各地で起こる集中豪雨や津波、頻発する大型地震などの映像をSNSやニュースなどで見て、衝撃を受けたことはありませんか。そうした災害に備え、河川や海岸の堤防を強化したり、建物や設備の耐震化なども行ったりしています。

また、いざ災害が発生したときは、真っ先に現場に向かい応急復旧活動に取り組みます。

このように皆さんの携わっている建設業は、豊かな暮らしの基盤を作り、安心安全な生活を守ることで人々が幸せに暮らせるよう生活を下支えしているのです。

2.「地域の守り手」について

災害発生時には、国、都道府県などからの要請を受け、作業員や重機を出動させ、災害箇所の道路を封鎖し応急処置を行うなど、被害を最小限に抑える活動を行います。

また、台風通過後などに家屋の被害が発生した場合は、屋根にブルーシートを張るなどの応急処置や、電気やガス、水道の復旧など、建設業全体で対応します。

このように様々な災害対応において、地域の地形などを熟知した建設技術者が行政と連携し、迫りくる危険から地域を守っています。



建設技術者の仕事

2-1 施工管理

2-2 建設技術者の種類

2-3 土木技術者の仕事（着手から完成）

2-4 建築技術者の仕事（着手から完成）





2-1 施工管理

1. 建設技術者の役割

建設業には以下のような特徴があります。

- ・個別受注生産のため、あらかじめ品質を確認することができない
- ・現地屋外生産のため、工程が天候に左右されやすい
- ・分業生産のため、多くの協力会社をマネジメントする必要がある

したがって、設計図書に求められる品質を満たした建設物を工期内に完成させるには、建設技術者のマネジメント能力が重要となってきます。

一方で、建設技術者は、企業の利益を確保するため、施工に係る費用とのバランスも考慮しなければなりません。

さらに、工事中に事故が起こらないよう安全確保は必須であり、環境への配慮も求められます。このように建設技術者には、以下の5つの施工管理能力が求められます。

